

| | | | |
|-------|-------------|------|------------|
| 3類型 | 鉱工業品 | 通巻番号 | 7-24-001 |
| 地域資源名 | 藍染め | 認定日 | 平成24年6月20日 |
| 地域 | 徳島市、藍住町、上板町 | 所管省庁 | 経済産業省 |

**事業名: 徳島県の藍染め技術を活用した藍染め馬革素材及び馬革製品の
開発・製造・販売**

会社名: 株式会社絹や
(共同申請者: 有限会社古庄染工場)
連絡先: TEL: 088-622-1745
FAX: 088-622-0141

所在地: 徳島県徳島市寺島本町西2丁目35番地1
HP: <http://www.wa-kinuya.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・本事業では、地域産業資源である「藍染め」の生産に係る技術を活用した藍染め馬革素材及び馬革製品の開発・製造・販売を行う。
- ・従来の藍染め製品は繊維素材がほとんどで天然皮革に藍染めをすることが困難であったが、本事業では、伝統的な本藍染めの染色方法である天然灰汁発酵建により、染色工程で使用する藍染め液に含まれる木灰や糖蜜、石灰等の配合割合を調整することで、皮革を傷めず、色むら無く染色することが可能となった。

藍染め馬革素材



藍染馬革製品

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・藍染めを活用した皮革製品は市場にほとんど流通していないことから、差別化できる。また、化学的な添加物を含まない天然素材(藍・木灰・石灰・糖蜜)を使用して染色するものであり、本物志向・自然派志向のユーザーを満足させることができる。

◆市場性

- ・藍染めの青い色は、「JAPAN BLUE」として世界に知られるほど深く鮮やかな日本を代表する色である。歴史ある阿波藍、天然素材使用、伝統的な染め方、馬革製品として初の藍染めであることなど、商品としての差別化された特徴を適切に伝えることで新たな藍染め製品として市場を開拓していく。

◆販路

- ・既存取引先である京都市の卸問屋を活用し、天然染色や藍染めに関心のある店舗及び企業に販路開拓を図る。また、展示会などの商談会で新規販路開拓を実施しながら馬革素材を提案していく。



地域における関係事業者との連携

- ・藍染めの生産に係る技術の研究については、徳島大学及び四国大学と連携を図っているほか、データ検証などについては、徳島県立工業技術センターの協力を得る予定である。また、徳島県やとくしま産業振興機構などの公的支援機関から販路開拓支援を得て、競争力のある商品開発を実施する予定である。